第 171 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録（案）
日時：2 月 12 日　13：00～16:00
場所：電気倶楽部（東京都千代田区有楽町 1-12-1 新有楽町ビル 10 階）　第 3 会議室

出席者（順不同、敬称略）
委員長：岡本（電中研）
委員：小山（東芝）、武内（日立）、高橋（フジクラ）、福永（通総研）、金子（新潟大）、島田（通総研）、千綿（日立電線杣委員代理）
幹事：宮下（三菱電線）
幹事補：岡下（昭和電線）、西川（芝工大）
オブザーバ：高橋氏（電中研）

資料:
番号なし 第 170 回誘電・絶縁材料技術委員会議事録（案）
171-1　誘電・絶縁材料技術委員会委員名簿(2004/2/12)
171-2-1 環境対応電気電子・システム調査専門委員会議事録(8 回)
171-2-1 環境対応電気電子・システム調査専門委員会議事録(9 回)
171-3　ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会設置趣意書（案）
171-4　ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会委員公募様式
171-5　環境対応材料の電気機器への応用調査専門委員会設置趣意書（案）および委員会委員公募様式
171-6　「機器診断の経済性評価調査専門委員会」設置趣意書および公募様式（案）
171-7　「情報通信のための誘電絶縁材料調査専門委員会」活動予定
171-8　誘電・絶縁材料技術委員会　調査専門委員会フォローシート（2004/2/12 現在)
171-9　平成 15,16 年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事予定案（第 6 次案）
171-10　第 35 回電気電子絶縁材料シンポジウム開催提案書（第 1 次案）
171-11　第 35 回電気電子絶縁材料シンポジウムプログラム（A改）
171-12-1　技術委員会における優秀論文発表賞選考方法について
171-12-2　優秀論文発表賞候補者推薦のお願い、推薦用紙
171-13　第一回 ISEIM2005 組織委員会議事録（案）
171-14 Call for Papers(040212)

議事：

１．前回議事録について
西川幹事補が読み上げ、一部訂正の後承認された。

２．資料 171－1 について
技術委員会名簿である。

３．資料 171－2 について
武内委員より環境対応電気電子・システム調査専門委員会議事録(9 回)について説明がなされた。次回、最終委員会であり、H16 電気学会全国大会シンポジウム開催予定である。報告書は発行しない。

４．資料 171－3,4 について
金子委員より、新委員会（ナノ構造制御有機薄膜及び複合膜の機能化とデバイス応用調査専門委員会）設置趣意書（案）および公募様式について説明がなされた。
・追加訂正：デバイス→センサおよびデバイスとする。
・岩本委員会との役割分担は調整済み。
などの報告がなされ、目的、すう勢の明確化を検討していただき、次回の役員会開催までに委員長に提出していただくこと、こととした。

５．資料 171－5 について
武内委員より新委員会（環境対応材料の電気機器への応用調査専門委員会）の設置趣意書（案）について説明がなされた。
・内外のすう勢について、外部、特に世界的な動き（IEC のタスクフォース）の件を盛り込んではどうか。
・運営委員会での指摘があるので、委員名簿での会員・非会員を明示したほうがよい。
以上の意見が出た後、2 月末までに修正していただくことで、承認された。

６．資料 171-6 について
新委員会（機器診断の経済性評価調査専門委員会）設置趣意書（案）について岡本委員長が代読（穂積氏）した。
・目的部分が長い、用語の説明が多い。
・4 項．予想される成果→効果とする。
・データベースとなるものがユーザーから出てくるか、が問題となる
等の意見があった。以上を穂積氏にご連絡し、ご訂正頂くこととした。

７．資料 171-7 について

福永委員より、情報通信のための誘電絶縁材料調査専門委員会活動予定について説明がなされた。第１回委員会開催前に、拡大幹事会を開催する予定であるとの報告があった。GHz帯の誘電体に関するものなど、今後、発展が期待される分野が多いのでバックアップしてゆくこととした。

８．資料 171-8 について
宮下幹事より誘電・絶縁材料技術委員会　調査専門委員会フォローシート（2004/2/12 現在)
について、説明がなされた。

９．資料 171-9 について
宮下幹事より平成 15,16 年度誘電・絶縁材料研究会、技術委員会、その他行事予定案（第 6 次案）について説明がなされた。今後の予定について、以下の検討がなされた。
・情報通信関連絶縁：H16/6 は難しいが、H16/9 東京支部連合研究会ならば可能性あり。
・H17/1：環境対応材料委員会に検討していただく。
・H17/3：全国大会シンポジウムが未定である。機器・ケーブルの診断関連、ナノで募集（３つの調査専門委員会）をかけることとした。
・H16/6 予定とある空間電荷関係は 12 月に開催とする。
・H16/6/25 インバータサージ絶縁：西川（木村）が対応する。

１０．資料 171-10 について
宮下幹事より第 35 回電気電子絶縁材料シンポジウム開催提案書（第 1 次案）について説明がなされた。一般募集テーマとして、新素材関連を入れたほうがよいとのご意見があり、生命体工学誘電材料をバイオエレクトロニクス材料と変更することとした。3 月に運営委員会に提出する予定である。

１１．資料 171-11 について
第 35 回電気電子絶縁材料シンポジウムプログラムである。
・基調講演の設定は、発表申し込み状況に応じて対応する。
・若手セミナーに変わり、懇親会で若手親睦会を行う。
・ポスターに対して、賞を与える。（金、銀、銅）
などの意見が出され、幹事団で引き続き検討することとした。

１２．資料 171－12-1,2 について
優秀論文発表賞選考方法について西川幹事補より説明がなされた。研究会（合同研究会）およびシンポジウム用に日本語の推薦用採点用紙が示された。

・国際会議は、英語版を作成し、座長に審査していただく。
・異なる研究会から多数候補者が出た場合に対応するため、点数の計算方法を明示する必要がある。
などの意見があった。次回までに訂正案を準備することとした。

１３．資料 171-13,14 について
ISEIM2005 事務局高橋氏（電中研）より第一回実行委員会議事録について説明がなされた。
Call for Papers の Main Topics として、以下の訂正を行った。
5. New materials for を削除。
8. dielectrics→dielectrics and electronics

１４．研究会活動補助金について
岡下幹事補より、研究会活動補助金（報告書売り上げに応じて支給され、座長の交通費、各種行事、見学会補助、特別講演者謝礼、必要と認めた補助として支給可能）について報告がなされた。残額を出席比率に応じて、交通費として支給するとの提案がなされ、承認された。

１５．次回委員会開催について
6 月 25 日、九州工大を予定。

（以上）